

2025 年 5 月 30 日

国立大学法人東京藝術大学

「東京ドームシティ アートプロジェクト」
2025 年度第一弾として卒業生のユウキユキの映像作品を
100m 超のロングビジョンにて放映

国立大学法人東京藝術大学（学長：日比野克彦、以下「本学」）は、2022年より株式会社東京ドーム（所在地：東京都文京区、代表取締役社長 COO：長岡 勤）および一般社団法人東京藝術大学芸術創造機構（所在地：東京都台東区、代表理事：佐野 靖）と共同して「東京ドームシティ アートプロジェクト」を実施しています。

今年度は、本学の卒業生であるユウキユキ、村山悟郎、副島しのぶの映像作品を、東京ドームシティ セントラルパーク「パークリボンビジョン」にて放映します。第一弾として、ユウキユキの作品を2025年5月30日から10月頃まで放映いたします。2023年に東京ドームシティ セントラルパークに新設された、長さ100mを超えるロングビジョンを活用して放映する、プロジェクト初のデジタルアート作品を、ぜひご覧ください。



<第一弾開催概要>

- 期間 2025 年 5 月 30 日(金)～10 月頃 ※作品時間…30 秒
7：30～22：59 のあいだ、毎時 00 分と 30 分開始予定。
- 場所 東京ドームシティ（文京区後楽 1 丁目 3 - 6 1）
セントラルパーク「パークリボンビジョン」
- 入場 無料
- ウェブサイト <https://www.tokyo-dome.co.jp/event/city/events/artproject.html>

※放映予定は変更となる場合がございます。

今後の予定： 2025年10月～2026年3月 村山悟郎 2026年3月～6月 副島しのぶ

□アーティストのコメント

東京ドームシティは、街と地続きでありながら、日常と非日常が交差し、心が高揚する体験をもたらしてくれる場所です。

私にとっても、十数年前にはコスプレイベントで参加した思い出深い場所です。近年は、コンサートやローラースケートを楽しみに訪れるようになりました。ここでは、いつも自分の前向きな感情が呼び起こされます。

このプロジェクトのリサーチを始めた頃、ちょうど自身の誕生日を迎えました。

誕生日は、自分を少しだけ労わって新たな一歩を意識する日です。同時に、年齢への焦りや、誰かに祝われたいという欲も生まれ、特別な気持ちと後ろめたさといった複雑な感情が入り混じる日でもあります。

誕生日をケーキでお祝いする風習は、ケーキを月に、ろうそくの火を月光に見立てた古代ギリシャの慣習に由来し、日本では昭和24年の法改正を機に、個人の誕生日を祝う文化が定着したといわれています。

とくに現代では、SNSを通じて「推し」の誕生日を祝う投稿に触れ、人を想う力に胸を打たれることがあります。

これまで私は、自身の痛みや揺らぎと向き合いながら、それを作品へと昇華させてきました。

しかし、今回は東京ドームシティという場所が持つ高揚感とその余韻に着目し、日常の中にふと差し込む光のような表現を目指しました。

この空間に、もし、偶然今日が誕生日の誰かがいたら――。

そんな想像から、この作品が生まれました。毎日、誰かの誕生日があります。もしかしたら今日は、あなたの誕生日かもしれません。

思いがけない祝福に、ふと笑みがこぼれる。そんな想いをこめて、心がほころぶひとときをお届けできたら幸いです。

ユウキユキ



現代美術作家。静岡県出身。2022年、東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。コスプレ、アイドル、BLなどのオタクカルチャーに関わりながら、自分と他者、虚構と現実といった境界領域に存在するフィルター「欲望の受け皿」に着目し、閉塞した二者関係の問い直しや解体を試みる。自身の制作行為のルーツとなる手芸やDIY的な手作業を用いて、インスタレーション、映像、写真、パフォーマンスなど、さまざまな表現手法へと展開。

主な展覧会に「ブルーピリオド展～アートって、才能か？～」(寺田倉庫、東京、2022年)、「フェミニズムズ」(金沢21世紀美術館、石川、2021年)、「三すくみんぐ」(元映画館、東京、2021年)、「第21回岡本太郎現代芸術賞展」(川崎市岡本太郎美術館、神奈川、2018年)などがある。

<東京ドームシティ アートプロジェクトについて>

東京ドームシティとアートの可能性の探求をテーマに、2022年5月から5年間を活動期間とし、東京ドーム、東京藝術大学、東京藝術大学芸術創造機構の3者が連携し、東京ドームシティという場所を持つ固有の魅力の調査研究、様々なお客様が様々な形でアートの楽しさや素晴らしさに触れられる機会の創出、若手アーティストの活動、活躍の場の創出を行います。

これらの活動により、アートを基盤としたこれまでにない企業価値向上の仕組み構築を図り、アート文化の発展や、アートを通じた社会課題の解決、社会的豊かさの創出を目指します。

これまで、本学の卒業生である高橋臨太郎(2022年度)、遠藤麻衣(2023年度)、Hogalee(2024年度)、栗原良彰(2022年度～)が参加し、東京ドームシティを訪れるお客様にアートの楽しさや素晴らしさに触れられる機会の創出を図りました。

【このプレスリリースのお問合せ】

東京ドームシティ アートプロジェクト事務局 (一般社団法人東京ビエンナーレ内)

東京都千代田区東神田1丁目13-3 商品部ビル5階

電話：03-5809-1653 メール：pr@tokyobiennale.jp